

魅力

のしろ 発見!

梅内聚落 編

— 限界集落の底力 —

地区存続へのアイデア 魅力発信を積極的に

ニツ井町の中心部から車で約10分の場所にある梅内聚落。古くからスギの植林が盛んで、豊富な森林は林業をはじめ、まき作りや山菜採りなど住民の生活に密接に関わってきました。住民の50%以上が65歳以上のいわゆる限界集落。地区の存続のため、10年ほど前からさまざまな取り組みを行っています。

平成24年に始まったのが「宝の森林プロジェクト」。先人たちが守り継いできた森林を後世に残そうと、地域の小学生への体験活動などを行っています。7月に道の駅ふたついで行われた「2022あきた水と緑の森林祭」では、こうした活動

が評価され、秋田県水と緑の貢献賞を受賞しました。

同プロジェクトで山が整備されるおかげで生まれる副産物が山菜です。その恩恵を受けて活動するのが、地域の女性らが参加する梅内山菜倶楽部。山菜シーズンにはタラの芽やコシアブラ、ワラビなどを収穫し、関東圏などに出荷しています。

「梅内は山菜の宝庫。春になると山菜を採りに行きたくてじつとしていけないの」と藤田ひな子代表が笑顔で教えてくれました。

今年からは、県のコミュニティ生活圏形成支援事業の一環として、郷土料理作りやチェーン



だまこ鍋作りの体験イベントの様子。梅内山菜倶楽部のメンバーが作り方のコツをアドバイス



梅内山菜倶楽部の皆さん。イベントでは自慢の山菜料理を提供



だまこ鍋と山菜料理3種が参加者のお腹を満たしました

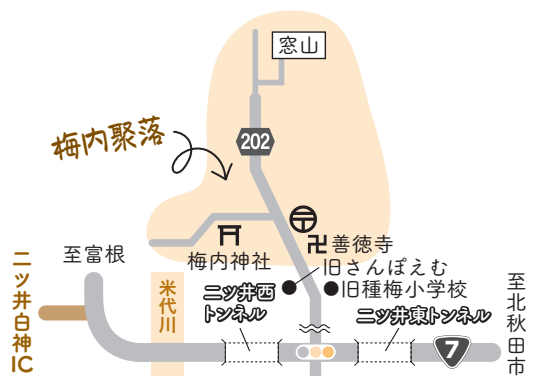
ソー操作などの体験イベントも始まりました。初回から多くの参加があり「人が温かい」「また来たい」と好評でした。安井重雄区長は「事業は今年度までだが一過性のものにせず、地域の若手の力も借りながら続けていきたい」と話します。また地区では、旧さんぼえむの改修工事が進行中。「集落間の交流の拠点となる場所を目指しています」（安井区長）。小さな集落でもまた新たなチャレンジが始まろうとしています。



チェーンソー体験は若手を含む宝の森林プロジェクトのメンバーが指導



地域の森林に親しんでもらうためニツ井小児童にきのこの植菌などを指導



郷土芸能「梅内駒踊」は10月30日(日)にきまち阪県立自然公園で行われる民俗芸能の合同発表会で披露される予定

価値がなかったスギの先端部分などを使用したアイデア商品。たき火が楽しめキャンプファイヤーにぴったりの「燃え杉くん(左)」と枝の部分に小物が掛けられる「掛け杉くん」。ネーミングセンスも抜群!



種梅川に生息する川ガニのモクズガニ。とってもおいしいだしが出るそう。安井区長の好物!

What? 梅内聚落

旧梅内村を区域とする地縁組織。白神山地を水源とする清流種梅川が区域を流れ、その周辺に11の小集落が点在する。約160世帯、400人ほどが暮らしている。



梅内聚落の情報満載のホームページはこちら

目次 — CONTENTS —

- 4 市議会9月定例会市長説明
- 6 財政状況
- 8 愛犬登録と狂犬病予防注射
- 9 インフルエンザ予防接種費用助成
- 10 健康チャレンジポイント事業
日曜がん検診
- 11 新型コロナワクチン接種情報
- 12 話題ピックあつぷ
- 13 栄養士おすすめお手軽レシピ
- 14 のしろinformation
- 20 学びの情報箱
- 22 まちなか瓦版

広報クイズ

Q1 飼犬の登録と狂犬病の予防注射を行う秋の巡回の今年の開始日はいつ？

1. 10月20日
2. 10月21日
3. 10月23日

Q2 健康チャレンジポイント事業について1回の特定健診受診で得られるのは何ポイント？

1. 100ポイント
2. 200ポイント
3. 600ポイント

すべて正解した人の中から抽選で3人に、木工品をプレゼントします。

応募方法

電子申請やはがき、Eメール、ファクスでクイズの答え・郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・性別・電話番号を記入し、広報のしろに対してひと言添えてご応募ください。

あて先 〒016-8501 能代市上町1-3 地域情報課
ファクス 89-1793
Eメール kouhou@city.noshiro.lg.jp

締め切り 10月25日（火）（当日消印有効）

※当選者の発表は、賞品の発送をもって
かえさせていただきます。

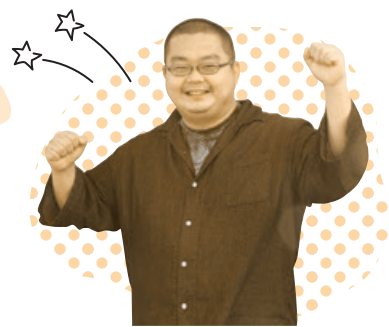


電子申請はこちら

梅内地区密着型 地域おこし協力隊

檜森隆太さん

Facebookで
梅内情報を
配信中！



地域密着型の地域おこし協力隊として昨年10月に着任。梅内に住んで1年になりました。地域の皆さんには、野菜やおかずをもらったり行事に気軽に呼んでもらったりと、とてもよくしてもらっています。

この1年は、Facebookを活用し梅内情報を発信してきました。夏にはYouTubeチャンネルを開設し、梅内駒踊をライブ配信しました。初めての挑戦でしたが楽しかったです。今は、梅内地区の魅力を発信できるようなオンラインツアーなどを計画中。米代川や種梅川の生き物を観察する子どもたち向けの体験なども提案し、地域の魅力を広く伝えていきたいです。

移住者の皆さんの声

今年、梅内地区に2組の家族が移住しました。梅内ライフをどう過ごしているかお話を聞きました。

今年4月移住



安井さん家族
（右から金也さん、麗子さん、
麗子さんの母・小野瀬照子さん）

景色が最高
眺めるだけで幸せ

神奈川県から移住しました。昔からロシアの沿海州に移住したいという考えがあり、森林が多くて環境が似ている秋田県を選びました。もともと梅内出身（金也さん）。人里離れた山奥に住みたいとも思っていたので、子どものころに住んでいた場所よりもさらに奥に家建てました。なんといっても景色が最高。眺めているだけで幸せです。今後は、小麦の収穫やヤギの飼育、またインド・タイ料理に合う長粒米や冷めてもおいしい低アミロース米の稲作などを行い、自給自足の生活を満喫したいです。

静かな雰囲気が
気に入っています

今年9月移住



佐藤弦さん・香蓮さん夫婦

地域おこし協力隊の檜森さんの紹介で今の家を見つけ、能代地域から移住しました。「小高い場所に住みたい（弦さん）」という希望にぴったりの見晴らしの良い場所にあり、静かな雰囲気が気に入っています。最近はよくランニングも楽しんでいます。自然豊かなこの場所で、2人の時間をのんびり静かに過ごしていけたらいいなと思っています。